

## 第5学年 国語科学習指導案

日時 平成19年 9月11日(火) 5校時  
児童 第5学年 男9名 女12名 計21名  
指導者 藤村裕子

### 育てたい主な能力(基礎・基本)

- ・考えた事や自分の意図がわかるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。(話・聞ア)
- ・全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること。(書イ)
- ・必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。(読オ)
- ・目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。(読イ)

1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう

教材名 「ニュース番組作りの現場から」「工夫して発信しよう」(光村図書 5年下)

### 2 単元について

#### (1) 児童の実態について

これまで児童は、説明的文章の学習として5年上「サクラソウとトラマルハナバチで、文章を的確に読み、要旨をとらえ筆者の主張を読み取り、それに対する自分の考えを持つ学習を行ってきた。

そして、各段落の中で、問いの文やそれに対する答えの文を押さえること、また、接続語や重要語句に注意して段落の内容を読み取ることはできるようになってきている。しかしながら、昨年度の学習達成度調査で落ち込みのあった「要旨をとらえる」ことについては、まだ十分な力が育っていない状態である。

これに対して、中学校の学力状況を平成18年度「学習定着度状況調査」の結果で見ると、第一学年では「文章の要旨をとらえる」、第二学年では「文章の展開を確かめながら、要旨をとらえることができる」が正答率が低く、いずれも落ち込んでいる状況である。

以上の結果から、「要旨をとらえる」力を小学校5・6年時に定着させ、中学校で引き続き高めていくことが肝要である。

#### (2) 単元について

本教材は、ニュース番組の「特集」の作り方について、まとめられた文章である。説明文の学習としては、上巻「サクラソウとトラマルハナバチ」がなぞ解きのような文章であるのに対して、時間に沿って、特集作りの過程(企画会議、情報収集、編集・伝えたい内容の絞り込み等)が段落ごとにわかりやすく整理されており、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取ることができる。

また、本単元は二つの教材で構成されており、本教材「ニュース番組作りの現場から」は、その後の「工夫して発信しよう」の活動のための手引き、あるいは解説の内容となっている。「工夫して発信しよう」で、受け手に意味のある話題をどう取り上げ、伝えたいことの内容をどのように発信するのか、目的をもって読み進めることのできる単元構成になっている。

#### (3) 指導にあたって

本教材「ニュース番組作りの現場から」の指導にあたり、今までの既習内容である「順序」「段落の要点」「段落相互の関係」等を使い文章を読み取らせたい。そして、学んできていることは「使えること」や文章を内容のみでなく形から読み、筆者の表現上の工夫も感じ取らせるようにする。また、予め、次教材「工夫して発信しよう」の題材等の構想を立てておき、目的に沿って読み進む中で、構想の中にその読みを活用できるようにしていく。

第一次「つかむ」の段階では、本教材の学習後に、実際に情報を発信する活動をすることを確認し、児童が目的を持って読み進めることができるようにする。また、予め、次教材「工夫して発信しよう」の題材等の構想を立てておき、目的に沿って読み取った後に構想の中にその読みを活用できるようにする。

第二次「深める」の段階では、事例をもとに、各過程の大切な点や工夫している点、報道スタッフの意図や願いを読み取っていく。指導上の留意点として、文末表現(「～ました」=スタッフの仕事、「～です」「～ます」=制作上大切なこと)に注意して事実と意見を区別して考えること、主語の省略が多いので、誰がしている仕事なのかをしっかりと理解することなどがあげられる。

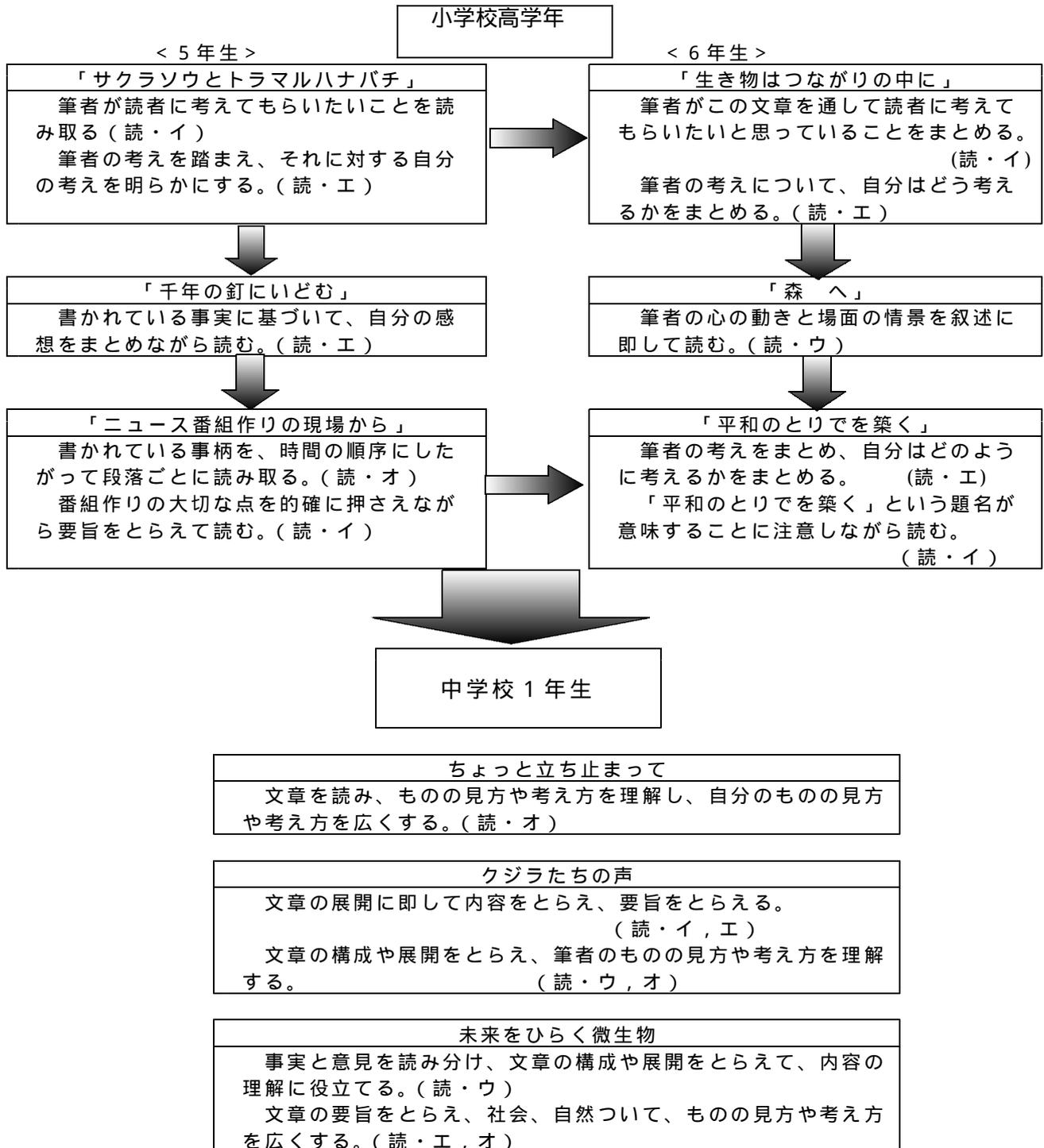
第三次「まとめる」では、「筆者が私たちに伝えたいことは何か」を叙述に即して要旨をとらえ、これから自分たちが発信するときどのようなことに気をつけなければならないかという自分の考えを持たせたいと考える。以上のように、本教材では、文章構成をつかみ、**要旨をとらえて**、筆者の訴えたいことを読み取る力を育てていきたい。

「工夫して発信しよう」の指導にあたっては、「説明文の筆者の訴えから自己の考えを広げ、実践しようとする態度」を育てることをねらいとする。したがって、発信する情報のできそのものが重要なのでは

なく、 どういう理由で話題を決定したのか、 どのように情報を収集したか、 伝えたいことの手心が よくわかるようにどう編集したか、 その結果としての原稿であることを評価していきたい。

これから社会性をいっそう高めていく5年生の児童には、これらの学習を通してより社会のニュースや情報に対する関心を持ち、友達同士で考えを伝え合ってほしい。そして、ニュースの「特集」を見るときには、放送までの過程や編集の意図などについても思いをめぐらして見てほしいと思う。

### 説明的文章の指導系統図



### 3 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
関意態	自分が必要とする情報をすすんで読み取ろうとする。 特集番組でのニュースをさがして伝えることに興味をもち、伝え方や内容を工夫しようとする。	・既習事項を使いながら、目的に沿って、文章を正確に読み取ろうとしている。 ・特集番組でのニュースをさがして伝えることに興味をもち、相手に分かるような番組を発信しようとしている。
能力	聞き手に分かりやすいように、組立てを考えて話すことができる。(話・聞ア) 相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書くことができる。(書イ)  特集番組でのニュースを発信するために、内容を的確に押さえながら効果的な読み方ができる。(読オ) 内容を的確に押さえながら、要旨をとらえることができる。(読イ)	・聞き手に伝えたい内容がよく分かるような組立てを考えながら適切な言葉遣いで話している。 ・特集番組のニュースを伝えるために、材料を集めたり写真や図表との関係も考え選んだりしながら、整理して書いている。 ・特集番組のニュースを発信するために、内容を的確に押さえながら必要な情報の読み取り方を学び読み取っている。 ・内容を的確に押さえながら、要旨を読み取っている。
言語	文や文章には、いろいろな構成があることについて理解することができる。(言オ(ア))	・文や文章には、いろいろな構成があることについて理解している。

### 4 学習指導計画と評価規準

17時間(話・聞2、読7、書8)

評価方法

「ニュース番組作りの現場から」

時	学習内容	評価規準	
		読む能力	言語についての知識・理解・技能
1	・単元のねらいを知り、学習の見通しをもつこと	「ニュース番組作りの現場から」の文章の読み取り方を分かたり工夫して発信したりすることの学習の見通しをもっている。 発言・ノート	新出漢字や語句の意味について理解している。 音読・ノート
2	・目的に沿って読むため、「サクラソウとトラマルハナバチ」の説明文を用いて既習事項を確認すること	指示語や接続語を指摘したり内容を的確に押さえながら要旨を読み取ったりした既習を思い出し読み取っている。 発言・ノート	指示語や接続語を指摘し、それらの言葉を根拠に文章の構成について考えている。 発言・ノート
3	・「ニュース番組作りの現場から」を読み、内容のまとめりに要点をつかみ文章の大体をとらえること	「ニュース番組作りの現場から」を読み、内容のまとめりに要点をつかんだり文章構成を考え、内容の大体を読み取っている。 発言・ノート	指示語や接続語に着目し、それらの言葉を根拠に文章の内容や段落構成について考えている。 発言・ノート
4	・目的に応じて「ニュース番組作りの現場から」を読むための課題を設定すること  ・「特集」がどんなきっかけで作り始められたのかを読むこと	目的に応じて効果的に読むために、課題を設定している。 発言・ノート  「特集」がどんなきっかけで作り始められたか、話題について読み取っている。 発言・ノート	指示語や接続語、文末表現などに着目し、文章の書き方について考えている。 発言・ノート
5	・ニュース番組を人々に伝えるまでの過程について読み取ること	放送までの過程を時間の順序に従い読み取っている。 発言・ノート	指示語や接続語、文末表現などに着目し、文章の書き方について考えている。 発言・ノート

6	・番組作りで大事なことや気をつけることを読み取ること	番組作りの各過程で大事なことや気をつけることを読んでまとめ、番組作りの努力や願いについて読	指示語や接続語、文末表現などに着目し、文章の書き方について考えている。
---	----------------------------	---	-------------------------------------

		み取っている。 発言・ノート	発言・ノート
7	・ニュースを発信するという目的をもって文章を読み、要旨をとらえること (本時)	ニュースを発信するという目的をもって文章を読み、要旨を読み取っている。 発言・ノート	指示語や接続語に着目し、それらの言葉を根拠に文章の内容や段落構成について考えている。 発言・ノート

工夫して発信しよう

時	学 習 内 容	評 価 規 準	
		話す・聞く能力 書く能力	言語についての 知識・理解・技能
1 2	・教材文から編集の仕方を学んだり 特集番組を発信する計画を立てること	<b>書く</b> 編集の仕方を学んだりニュースを発信するための計画を立てている。 発言・ノート	新出漢字や語句の意味について理解している。 音読・ノート
3	・特集番組を伝えるための必要な材料や取材方法を考えること	<b>書く</b> 構成や放送原稿の記述を念頭におきながら、必要な情報を収集・選択している。 発言・ノート	文章の構成について考えている。 構成表
4	・取材をすること	<b>書く</b> 構成や放送原稿の記述を念頭におきながら、必要な情報を収集・選択し取材している。 発言・ノート	
5 6	・編集しながら特集番組を伝える映像や放送原稿を書きまとめること	<b>書く</b> 伝えたい内容が効果的に伝わるように編集を特集番組の映像を考えたり放送原稿を書いている。	特集番組の映像や放送原稿の構成について理解しまとめている。 構成表・放送原稿
7	・製作し終えた特集番組の映像を交流し合い、さらによく伝わるように編集を工夫すること	<b>書く</b> 友達にアドバイスをしたりされたりしながら、編集についてさらに工夫をしている。 (発言・ノート)	特集番組の映像や放送原稿の構成について理解しまとめている。 構成表・放送原稿
8	・特集番組のリハーサルを行うこと	<b>話す・聞く</b> 特集番組の原稿を、伝わりやすいように、音声面(間・調子)に特に気をつけて話している。 発表・ノート	イントネーション・適切な言葉遣いに気をつけて話している。 発表・ノート
9	・特集番組を発信をすること	<b>話す・聞く</b> 特集番組の原稿を、伝わりやすいように、音声面(間・調子)に特に気をつけて話している。 発表・ノート	イントネーション・適切な言葉遣いに気をつけて話している。 発表・ノート
10	・学習を振り返ること	<b>書く</b> 伝えたい内容が伝わった特集番組であったか、効果的なよさがあったかについて自己・相互評価をしている。	特集番組に合った構成になっていたか、受け手を考えた言葉の遣い方をしていたか等について適切に振り返っている。 発表・ノート

5 本時の指導

(1) 本時の目標

筆者の最も伝えたいことを読み取るとともに、要旨をとらえることができる。

(2) 展開

段階	時間	学習内容と主な学習活動	指導上の留意点( 評価の観点及び評価の方法)
つかむ	5分	<p>1 前時を想起する。</p> <p>2 本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>筆者(清水さん)の最も伝えたいことは、何かまとめよう。(要旨)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に読み取った「番組作りの過程と大事なことや気をつけること」と問題提示の文を掲示物から確認させる。</li> <li>・要旨を読み取ることが、次の学習とどうつながるのか「工夫して発信しよう」という目的のために、要旨を読み取る本時の学習がどういう意味をもっているか示す。</li> <li>・筆者を「清水さん」と置き換えて、筆者を近くに感じて読み取ることができるようにする。</li> </ul> <p>課題を把握し、番組作りの願いや努力を考えて要旨をまとめる意欲をもつことができたか。(観察)</p>
ふかめる	20分	<p>3 学習課題を解決するために、読みを深める。(要旨を読みまとめる。)</p> <p>(1) 学習範囲を考える。</p> <p>(2) 学習範囲を音読する。</p> <p>(3) た文章構成やこれまで学習してきた「過程」を想起し、重要語句を考え、要旨を考える。</p> <p>「おどろき」 話題選び  「疑問」 企画会議  「知らせるねうち」 編集  「知って考えてほしい」 放送「番組」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室掲示の文章構成図を参考にどこを中心に読んでいけばいいのかを考えさせる。</li> <li>・段落に書かれてある内容を考えさせるように一斉読ませる。</li> <li>・段落で、過程の中で特に大切だと考えられる4つの過程を意識させ、大切だと思う言葉を で囲ませる。</li> <li>・各意味段落の役割や意味段落相互の関係、筆者の考えを手がかりにまとめになっていることをとらえさせる。</li> <li>・「知らせるねうちがあるものを選ぶ」とは、疑問の答えが分かるようによりよいものを選んで編集することを確認する。</li> </ul> <p>文章構成や、重要な4つの「過程」と関連して、重要語句を選び出すことができたか。(発言・観察)</p>
まとめる	20分	<p>4 本時の学習をまとめる。</p> <p>(1) 「特集」がどのように作られていくのか、筆者の伝えたいこと(要旨)をまとめる。</p> <p>(2) まとめた文章を発表し合う。</p> <p>(3) まとめの音読をする。</p> <p>5 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要語句を付箋紙に書き、並べ替えながら考えることにより、文の構成を考え、要旨文をまとめることができるようにする。</li> <li>・自分の力でまとめられている児童は、重要語句を並び替えてつなげながらまとめるようにさせる。自分でまとめることが難しい児童には、重要語句をつなげる言葉をヒントに出し、読み取った内容からまとめるようにさせる。</li> <li>・いろいろな要旨文を発表させることにより、文章構成のよさに気付かせる。</li> </ul> <p>筆者の伝えたかったことを重要語句を使って要旨をまとめているか。(ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「特集番組を伝えるために」ということを考えさせる。</li> <li>・筆者の伝えたいことを考えさせながら音読させる。</li> <li>・次時は、ニュースを発信するための計画を立てていくことを確認する。</li> </ul>

( 3 ) 具体の評価規準

A	B	努力を要する状況の児童への手立て
<p>特集番組をつくるという目的をもって文章を読み、要旨をまとめている。 構成を考えながら要旨をまとめている。</p>	<p>特集番組をつくるという目的をもって文章を読み、要旨をまとめている。</p>	<p>特集番組の特に大切な4つの過程の大切なことは、どの言葉と対応しているか考えながら重要語句を考えさせる。 教科書のまとめの文の順序と同じように重要語句をつなげていけば要旨をまとめやすいことを教える。</p>

ニュース番組作りの現場から

清水 建宇

筆者の最も伝えたいこと(要旨)は、何かをまとめよう。

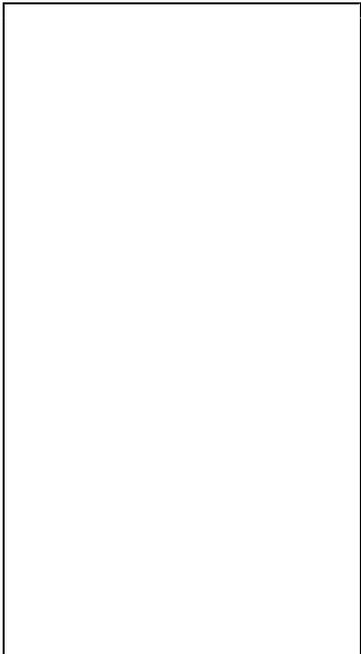
段落

まとめが書いてある

くのです

尾かつ型

願いをこめて



知らせるねいつち

知って考えてほしい

おどろき

疑問

番組

要旨

番組作りは、おどろきや疑問が出発点となる。そして、知らせるねいつちのあるものを選び、知って考えてほしいという願いをこめて、番組をつくる。